

災害の教訓を 未来に伝える

自然災害が起きた場所には、
その災害を記した石碑が建っていることがあります。
それは、将来起こるかもしれない災害に備えるため
先人達が残した、わたしたちへのメッセージです。

①『自然災害伝承碑』とは

- ◆ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害などの様相や被害の状況などが記載された石碑やモニュメントのことです。
- ◆ おもに被災場所に建てられており、それらを地図に表すことで地域住民への自然災害リスクの認識と防災意識の向上に役立つことが期待されます。

取組の きっかけは西日本豪雨 坂町で撮られた1枚の写真



撮影:大阪府警察



...、明治40年7月15日に大雨が降り、2本の川が氾濫した。氾濫は爆発に起きたため、人々は逃げる暇がなかった。被害が大きかったのはそのためである。雨がやみ、水が引いた後の河岸に家々はなく、一面見渡す限り土石流で埋め尽くされた。...

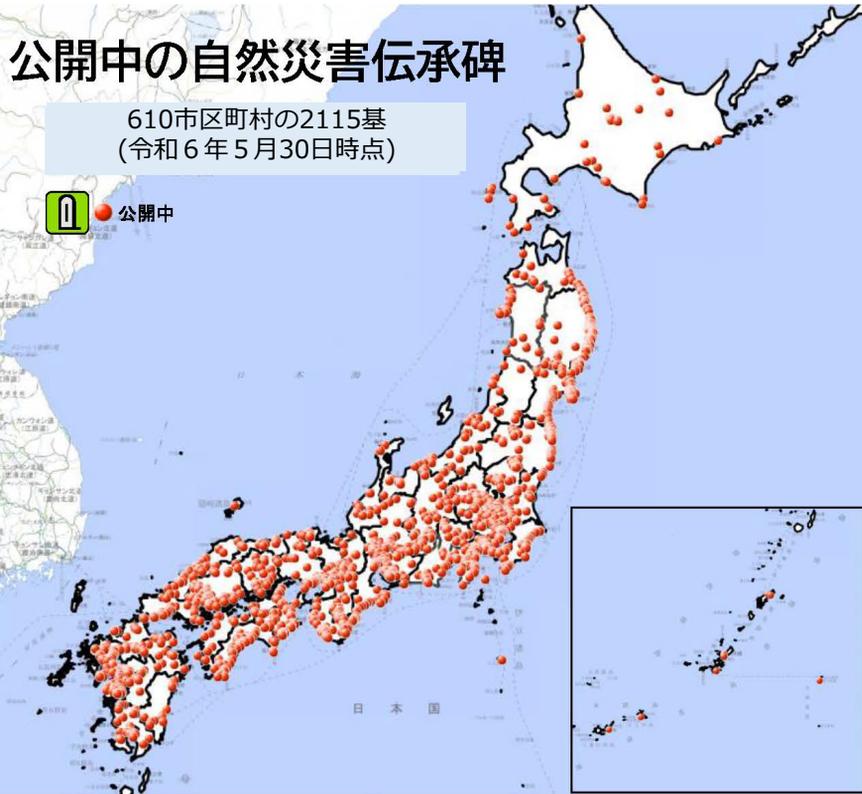
災害救助活動を行う大阪府警。再び被災した小屋浦地区の住民の多くは、石碑の存在は知っていたが、碑文の内容はあまり知られていなかった。

明治40年の豪雨による洪水・土石流被害を伝える「水害碑」

自然災害伝承碑の地図への表示



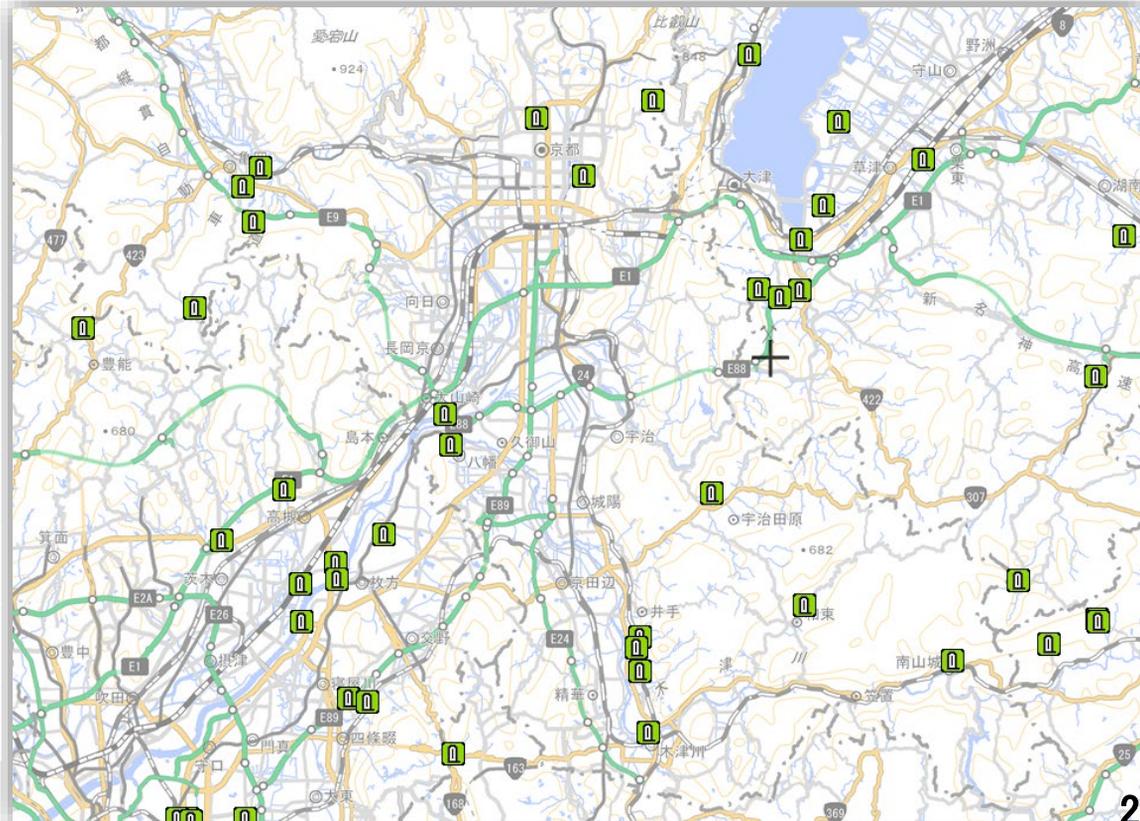
国土地理院では、令和元年3月に新たな地図記号「自然災害伝承碑」を制定し、地図に掲載することで、災害教訓の周知・普及に取り組んでいます。



公開基数(都道府県別)

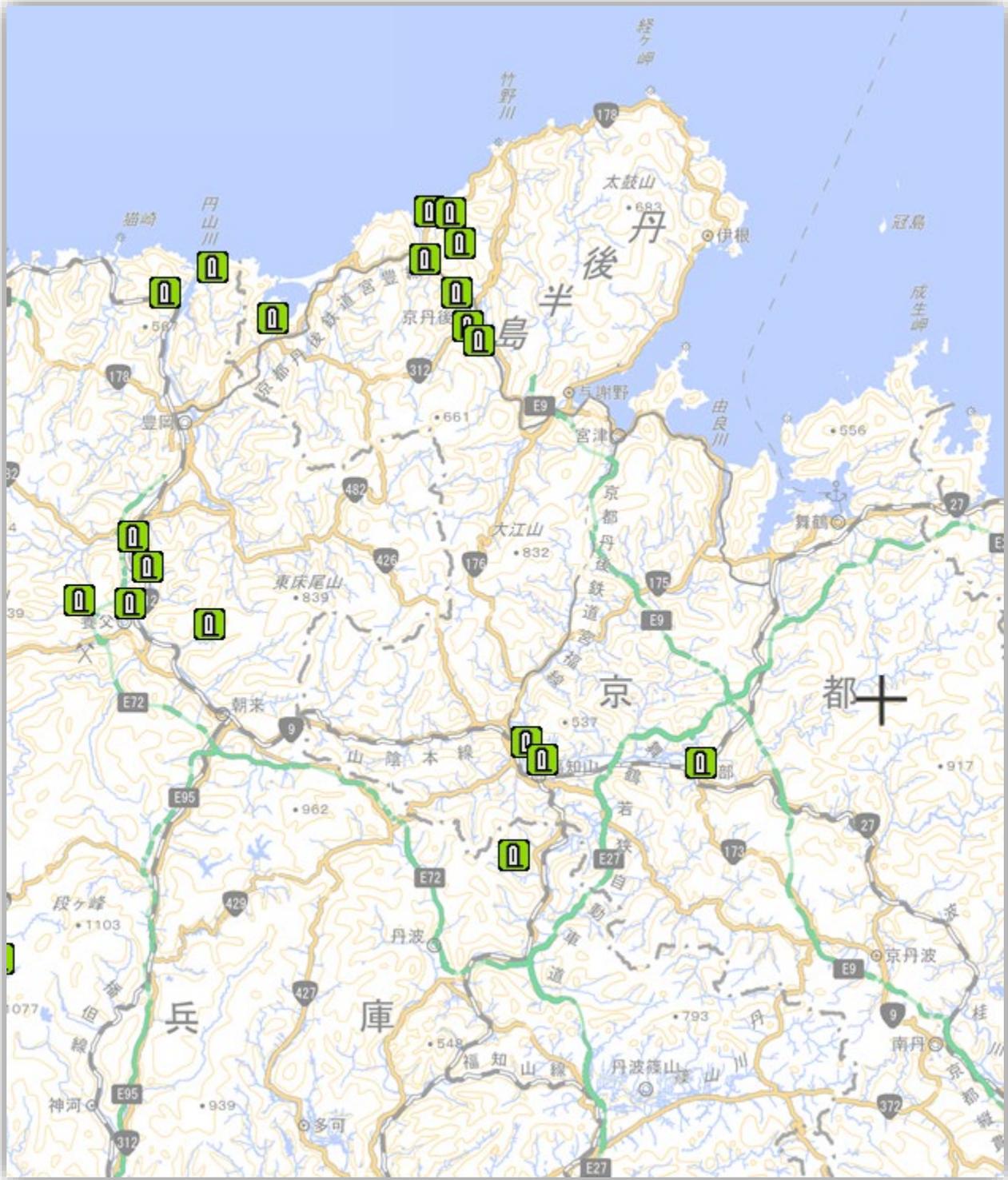
	都道府県	基数
1	岩手県	162
2	高知県	96
3	神奈川県	93
4	宮城県	87
5	長野県	82
6	広島県	81
7	三重県	79
8	愛知県	76
9	静岡県	74
10	兵庫県	72
	~	
33	京都府	26

京都府域の自然災害伝承碑(26基) 1/2



各市町村	基数
京都市	2
亀岡市	4
八幡市	2
木津川市	4
南山城村	1
宇治田原町	1
和束町	1
その他	11

京都府域の自然災害伝承碑(26基) 2/2



地理院地図での表示例



地理院地図上のアイコンをクリック
すると伝承内容を表示

「伊勢湾台風最高水位記録標識」

伊勢湾台風 京都府八幡市八幡在応寺

概要	
碑名	伊勢湾台風最高水位記録標識
災害名	伊勢湾台風 (1959年9月26日)
災害種別	洪水
建立年	1974
所在地	京都府八幡市八幡在応寺
伝承内容	台風災害としては明治以来最多の死者・行方不明者5,098名におよぶ被害が生じた昭和34年(1959)9月26日の伊勢湾台風では京都府内でも死者9名、家屋の全壊114戸の被害があった。当碑は伊勢湾台風の発生時に木津川で記録した最高水位地点を示している。
制限事項	
ID	262110-002

「南山城水害記念碑」

南山城水害 京都府木津川市山城町平尾綾杉河原

概要	
碑名	南山城水害記念碑
災害名	南山城水害 (1953年8月15日)
災害種別	洪水
建立年	1955
所在地	京都府木津川市山城町平尾綾杉河原
伝承内容	昭和28年(1953)8月15日未明、南山城地方を襲った前日からの集中豪雨により旧山城町の4つの天井川が突進し、死者32名、負傷者60名という大災害が起こった。とりわけ、天井川に囲まれた棚倉地域、高麗地域に被害が集中しており、棚倉地域では24名が死亡、家屋流出19戸全壊家屋30戸であった。
制限事項	
ID	26214-002

■地理院地図 <<https://maps.gsi.go.jp/>>

■自然災害伝承碑についての各種情報紹介ページ

(国土地理院 自然災害伝承碑のページ) <<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>>

地図への掲載には、**市町村のみならずからの申請**が必要です。

新たな伝承碑の建立や、地図に掲載のない石碑の情報がありましたら担当までご連絡ください。

管轄：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

●国土地理院 近畿地方測量部

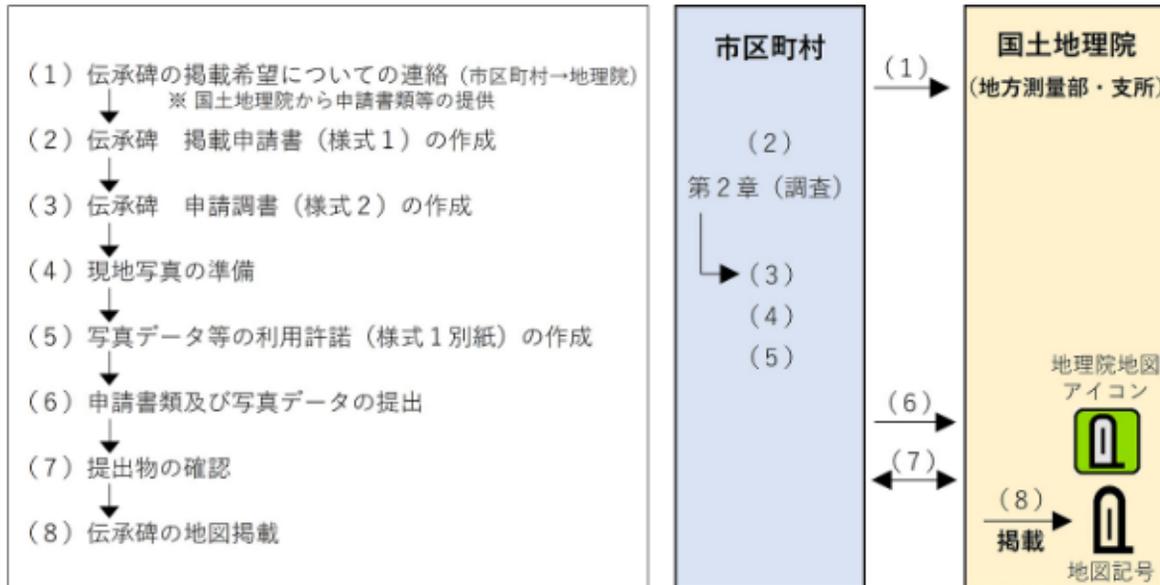
連絡先 06-6941-4507 (代表) e-mail: gsi-denshou-06-kk@gxb.mlit.go.jp

市区町村担当者の皆様へ

貴市区町村管内に自然災害伝承碑が建立されておりましたら、担当地区の地方測量部等までご連絡をお願いいたします。地理院地図等への掲載のために必要な申請書類・手続き等、ご説明させていただきます。

(掲載には、市区町村長からの掲載申請書が必要となります)

自然災害伝承碑の申請の流れ



自然災害伝承碑の地図への掲載の更なる充実を図るため、市区町村において効率的に調査・申請している例を以下の通り紹介します。

- ・防災担当部局や治水担当部局が、文化財部局や博物館と連携している例
- ・石碑等(県史跡)の文化財情報等の既存の情報を活用している例
- ・広報誌等で住民に自然災害伝承碑に該当し得る石碑等の情報提供を募集している例
- ・市民ボランティアの力を借りて調査を実施している例

(参考)

[自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第6版\(令和6年3月\)\(PDF:2.2MB\)](#)



目次	
はじめに	3
第1章 自然災害伝承碑の意義	4
第2章 自然災害伝承碑に係る調査	6
2-1. 対象となる自然災害伝承碑	6
2-2. 自然災害伝承碑に係る調査	11
2-3. 申請調査書の記入	13
2-4. 自然災害伝承碑の写真撮影について	18
第3章 自然災害伝承碑情報掲載に係る国土地理院への申請手続き	21
3-1. 自然災害伝承碑の掲載までの手続き	21
第4章 自然災害伝承碑情報の活用	25
4-1. 都道府県・市区町村における主な活用例	25
4-2. 適切な自然災害伝承碑情報の活用を支援するコンテンツ	29

自然災害伝承碑登録一覧 (1/5)

国土地理院HP掲載データ
(R6. 5. 30時点) より、淀川河川事務所 作成

市町	京都市	京都市	亀岡市
碑名	昭和十年水害浸水被害記念碑	師弟愛の像	慰霊塔
災害名	洪水	室戸台風	平和池決壊水害
	(1935年6月29日)	(1934年9月21日)	(1951年7月11日)
災害種別	洪水	その他	洪水・その他
建立年	不明	1960	1953
所在地	京都府京都市上京区上立売通油小路西南角	京都府京都市東山区円山町463	京都府亀岡市篠町柏原石垣
伝承内容	昭和十年(1935)6月29日未明、数日来降り続いた豪雨のため、京都市内を貫流する河川はすべて氾濫し、4万戸以上の市内家屋が浸水の被害を受けた。上京区小川学区では、29日午前5時に上立売小川の石橋が落ち、小川に面する家屋は倒壊流失または半壊した。碑には「大出水地上四尺」とあり、約1.2mの浸水があったことがわかる。	昭和9年(1934)9月21日、西日本一帯に猛威を振るった室戸台風の暴風により、京都市及びその周辺において数校の木造校舎が倒れ、その下敷きとなって児童162名、教員4名の命が奪われた。この像は戦後に再建されたものである。	昭和26年(1951)7月11日未明からの豪雨により、年谷川が増水・氾濫する中、上流の平和池ダムが決壊した。氾濫の濁流と決壊の鉄砲水が高さ2mから3mもの黒褐色の大波となって篠町柏原地区を襲い、美しかった街並みは一瞬にして泥海の底に沈み、死者75名、家屋の流失30戸、全壊22戸、耕地30ヘクタールが流失する被害となった。
現地写真	写真の二次利用は京都市への利用申請が必要	写真の二次利用は京都市への利用申請が必要	

自然災害伝承碑登録一覧 (2/5)

国土地理院HP掲載データ
(R6. 5. 30時点) より、淀川河川事務所 作成

市町	亀岡市	亀岡市	亀岡市
碑名	水難記念碑	平和池災害モニュメント	東別院村 水害復興記念碑
災害名	平和池決壊水害	平和池決壊水害	洪水・土砂災害
	(1951年7月11日)	(1951年7月11日)	(1951年7月11日)
災害種別	洪水・その他	洪水・その他	洪水・土砂災害
建立年	1955	2011	1981
所在地	京都府亀岡市上矢田町東垣内(矢田天満宮)	京都府亀岡市南つつじヶ丘桜台四丁目	京都府亀岡市東別院町南掛藤ヶ瀬3-1(自治会横)
伝承内容	昭和26年(1951)7月11日、集中豪雨により防水ため池の平和池が決壊した。年谷川に数メートルの小山のような濁流が轟音とともに押し寄せ、上矢田町内では死者17名、流失家屋10戸、耕地流失等の被害が生じた。災害は忘れた頃に来るので、この災害を次世代に伝えるため、この水害で流失した橋の石材を用いて碑を建立した。	昭和26年(1951)7月11日9時40分、集中豪雨で防水ため池である平和池ダムが決壊した。亀岡市内では114名(柏原区75名、旧亀岡地区21名、その他地区18名)が亡くなり、家屋の流失・全半壊268戸、床上浸水152戸等、下流の篠町柏原地区を中心に多くの被害が発生した。	昭和26年(1951)7月11日午前7時頃、雷を伴う集中豪雨により、各河川が濁流となって氾濫し、田畑や家屋が浸水、流失、埋没した。ここ東別院町では4名の尊い命が失われ、全交通機関が途絶し、電灯電話も切断されて全くの孤立状態となった。
現地写真			

自然災害伝承碑登録一覧 (3/5)

国土地理院HP掲載データ
(R6. 5. 30時点) より、淀川河川事務所 作成

市町	八幡市	八幡市	木津川市
碑名	伊勢湾台風最高水位記録標識	慰霊塔	災害記念塔
災害名	伊勢湾台風	室戸台風	南山城水害
	(1959年9月26日)	(1934年9月21日)	(1953年8月15日)
災害種別	洪水	その他	洪水
建立年	1974	1935	1959
所在地	京都府八幡市八幡在応寺	京都府八幡市八幡馬場88-1(善法律寺)	京都府木津川市山城町綺田西ノ城
伝承内容	<p>台風災害としては明治以降最多の死者・行方不明者5,098名におよぶ被害が生じた昭和34年(1959)9月26日の伊勢湾台風では京都府内でも死者9名、家屋の全壊114戸の被害があった。当碑は伊勢湾台風の襲来時に木津川で記録した最高水位地点を示している。</p>	<p>昭和9年(1934)9月21日、かつてない規模の台風(室戸台風)の強風により、八幡尋常高等小学校の校舎のうち12教室2棟が倒壊、5教室が半壊した結果、教員及び児童34名の命が奪われた。</p>	<p>昭和28年(1953)8月15日未明、南山城地方を襲った前日からの集中豪雨により天神川、不動川など旧山城町の4つの天井川が決壊し、死者32名、負傷者602名という大災害が起こった。とりわけ、天井川に囲まれた棚倉地域、高麗地域に被害が集中した。</p>
現地写真		<p style="text-align: center; background-color: yellow;">写真の二次利用は八幡市 への利用申請が必要</p>	

自然災害伝承碑登録一覧 (4/5)

国土地理院HP掲載データ
(R6. 5. 30時点) より、淀川河川事務所 作成

市町	木津川市	木津川市	木津川市 R6.3.28登録
碑名	南山城水害記念碑	水害記念碑	洪水供養石仏
災害名	南山城水害	南山城水害	水害
	(1953年8月15日)	(1953年8月15日)	(1712年9月19日)
災害種別	洪水	洪水	洪水
建立年	1955	1963	1714
所在地	京都府木津川市山城町平尾綾杉河原	京都府木津川市山城町北河原古屋敷	京都府木津川市木津町(正覚寺)
伝承内容	<p>昭和28年(1953)8月15日未明、南山城地方を襲った前日からの集中豪雨により旧山城町の4つの天井川が決壊し、死者32名、負傷者602名という大災害が起こった。とりわけ、天井川に囲まれた棚倉地域、高麗地域に被害が集中しており、棚倉地域では24名が死亡、家屋流出19戸全壊家屋30戸であった。</p>	<p>昭和28年(1953)8月15日午前4時、南山城地方を襲った前日からの集中豪雨により鳴子川など旧山城町の4つの天井川が決壊し、死者32名、負傷者602名という大災害が起こった。とりわけ、天井川に囲まれた棚倉地域、高麗地域に被害が集中しており高麗地域の北河原区では7名が死亡した。</p>	<p>正徳2年8月19日(1712年9月19日)の木津川の洪水により流域の住民数千人が犠牲となった。この石仏は水死した人々を弔うため、三回忌に造立された。</p>
現地写真			

自然災害伝承碑登録一覧 (5/5)

国土地理院HP掲載データ
(R6. 5. 30時点) より、淀川河川事務所 作成

市町	宇治田原町 R5.7.27登録	和束町 R5.12.21登録	南山城村
碑名	南山城水害記念碑	水難者慰霊碑	南山城水害記念碑
災害名	南山城水害	南山城水害	南山城水害
	(1953年8月15日)	(1953年8月15日)	(1953年8月15日)
災害種別	洪水・土砂災害	洪水・土砂災害	洪水・土砂災害
建立年	1956	1958	1956
所在地	京都府綴喜郡宇治田原町大字郷之口	京都府相楽郡和束町大字釜塚	京都府相楽郡南山城村大字北大河原小字北垣内
伝承内容	昭和28年(1953)8月14日の日没から降り始めた雨は夜半に雷を伴う豪雨となり、旧田原村では全村が停電した暗闇の中、15日午前3時30分頃に大字南東谷のため池、東谷新池、平ノ谷ため池が次々に決壊し、犬打川沿いの人家が土石流で流失した。高橋の上流200m付近では堤防が決壊し、田原川の奔流も合流して、郷之口上町荒木贄田方面の人家が浸水する大災害となった。	昭和28年(1953)8月14日の日没から降り始めた雨は夜半に雷を伴う豪雨となり、15日未明には和束町の各所で土石流が発生し、死者111名、家屋の流失・全壊196戸、床上浸水207戸、道路の崩壊368ヶ所、橋梁の流失113ヶ所、堤防の決壊60ヶ所等の被害が発生した。氾濫した和束川沿いの低地に設置されていたが、2013年に現在地の高台に移設された。	昭和28年(1953)8月14日、夕方から降り始めた雨は、段々と勢いを増し、翌15日未明に旧大河原村・旧高山村の各地で大規模な土石流が発生した。中小の河川は土石流に見舞われ、民家や田畑の流失被害も甚大であり、死者・行方不明者は54名にまでのぼった。
現地写真			

※R5、R6に登録された自然災害伝承碑について、登録日を掲載。